

平成26年度 各郡市の研究活動報告(魚沼市)

会 長 中山 節子

副会長 菊池 桐夫

評議員 中山 節子

1 研究活動の方針

当市は、市教委と連携して平成26年度から「温かい学級づくり支援事業」に取り組んでいる。市小教研としても、魚沼市教育委員会や市教育振興会、市中教研と連携を図りながら積極的に参画している所である。

そこで、当市小教研としては、温かい学級づくり支援事業を補完するとともに、当市の児童生徒の学力の一層の充実を図るために、自主的な研修機会を支援する「魚沼市教育振興会自主研修（プロポーザル方式）事業」を立ち上げた。具体的には、従来行っていた教科領域等の部会にこだわらず、会員相互で課題意識を持って取り組む研修の奨励と支援を行う。

2 研究活動の実際

(1) 申込条件

- ① 魚沼市の2校以上の学校の職員（会員）が共同して企画・推進する教科領域等の研修であること
- ② 目的・内容が学力向上等につながる実践的な研修企画であり、その成果が魚沼市の教育の振興に寄与するものであること

(2) 今年度採用されたプロポーザル研修

今年度は、5件の申込があった。審査の結果、「事務職員有志のサークルによる『良好な教職員組織の在り方』に関する研修」「養護教諭有志のサークルによる『児童生徒や教職員に健康管理能力の育成』のための研修」「若手教諭・講師有志のサークルによる『学力向上のための授業改善』の研修」の3件が採用された。

この研修のよさは、各サークルのメンバー同士がフラットな関係を構築し、自主的に集まり互いの考えや思いを自由に表出しながら研修の内容や方向を定めている所にある。多いところでは、6回も会合を重ねて本番を迎えた研修もあった。そのため、「自分たちの研修」という意識が高いものとなった。また、本番当日には、職域を越えた参加者もあり、会員にとって大変有意義な取組であったことが伺える。

3 郡市小教研が関係した研究会

今年度は実施していない。